

日野 振興センターだより

No.4

平成26年3月

鳥取県



写真：日野川スマホ携帯写真コンテスト(主催：日野川の源流と流域を守る会)
グランプリ作品 『夕陽の向こうには明るい明日がある』(chihiro)

特集

日野郡が輝くために!! 地域活動発展を目指して意見交換 P2

伝えたい日野郡のたたら製鉄 一広がりを見せたこの1年ー P4

ツバメの子育てを応援しよう! P5

日野郡3町が連携して日野郡鳥獣被害対策協議会を設立 P6

保安林制度にご理解を! / オオサンショウウオのためにスロープづくり!! P7

相次ぐ! 集落営農法人の立ち上げ / 日野郡の美味しい旬を伝えます! -3月の旬 山菜- P8

募集

鳥取県では、住民団体やNPO、ボランティア団体などが地域をより良くしていこうとする鳥取力創造運動を支援するため、「鳥取力創造運動支援補助金」を交付しています。地域の強みを活かした鳥取の未来を創造する活動の申請をお待ちしています！

※以下の内容は予定であり変更になることがあります。詳細はお問い合わせください。

平成26年度 募集概要

対象団体

地域づくりに意欲があり県内に事務所又は活動拠点を有する活動団体（法人格を問わない）

対象活動

環境、子育て、福祉、防災・防犯、地域交流、地域文化、地域スポーツ、まちづくり、農林水産、観光、地域催事などに関し地域の活性化を図るために行う取り組み

補助内容（主なコース）

- スタートアップ型（新規）
…上限10万円（補助率10/10）
新規、試行的な事業。従前の取り組みを拡充する事業
- 発展型 …上限100万円（補助率3/4）
発展的な取り組みで他のモデルとなり地域の活性化に寄与する事業
- ネットワーク型
…上限200万円（補助率3/4）
複数の活動団体が協力・連携（ネットワーク化）して新たな成果を生み出す事業

募集期間

- 1次 平成26年3月24日～4月11日
- 2次 平成26年5月21日～6月10日
- 3次 平成26年9月1日～9月22日



日野郡が輝くために!!

地域活動発展を目指して意見交換

日野郡には、様々な活動を通して、地域をより良くしていこうと活動されている団体がいくつもあります。

「地域を何とか良くしたい!」という想いは皆さん共通しており、精力的に活動されていますが、活動を継続、発展していく上では様々な課題を抱えておられます。

この課題を解決し、より発展した活動を続けるためのきっかけづくりの場として、今年1月、様々な分野で活動されている7団体の皆さんにお集まりいただき、「日野チカラ」を発揮するためにはどうすればいいか皆さんで意見交換していただきました。

抱える様々な課題

—日頃の活動を通じて、どのようなお悩みや課題をお持ちなの

輝く日野郡にするために

—では、どのように取り組むことで課題を解決し、より輝く日野にすることができのでしょうか?

①新たな視点で日野郡を見ることが出来る移住者など、「よそ者」を受け入れ、一緒に魅力を再認識し活動していくことが大切

フォ 移住者は「自分たちは良いと思うものがここにはたくさんある。」と言ってくれる。

里山 移住者の良いところは近所の高齢者の面倒を見てくれること。裸一貫で来てくれた者が限界集落を救うと思う。

しようか?

①メンバーの高齢化や新規加入者の減少による人材不足

里山 結成当初のメンバーは高齢化でギブアップする人が増えている。

美用 新しい人もなかなか入らず、新たな取り組みやイベント参加も困難になってきた。

②地元で長く住んでいない、周辺の環境が当たり前になってしま

い、地域の魅力に気がつきにくくなる

奥日 大阪のお客さんが根雨の街に勢いよく流れる水路を見て感激されていたが、地元民からしたら当たり前

②日野郡全体の価値を高めるためには、町の垣根を越えて連携した取り組みを行うことが必要

フォ 1組織ではなく地域全体で連携して色々なイベントを打ってあげば、それだけで大きなエネルギーになる。

伯耆 たたらにおける伯耆と出雲の共通点や違いをストーリー化する

ことで島根と連携している。島根での宣伝効果も期待できる。

みち 奥日野ガイド倶楽部のツアー参加者に、帰りはみちくさに寄るようPRしてもらえると助かる。

③外からの評価で地元の魅力を認

特定非営利活動法人つなで（日南町）障がい福祉サービス事業を展開

NPO 法人フォレストアカデミージャパン（日南町）森林を通じて豊かな環境のまちづくり活動

伯耆国たたら顕彰会（日野町）「たたら楽校」などによるたたら普及啓発活動

里山元気塾（日野町）農業体験交流やお年寄り支援など実施



みちくさ推進会議（江府町）江府町農産物直売所「みちくさ」にて地元野菜の販売

美用レディース加工グループ（江府町）トマトを使った加工品作りと販売

奥日野ガイド倶楽部（日野町）奥日野のまち歩きイベントなど開催

識することもあるため、外への情報発信も重要

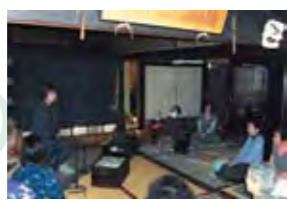
つな 都会の方が作業所で加工販売している漬物を気に入ってくれ大量に注文してくれた。

意見交換会を通じて、各団体が地域活動を行う中で共通した課題を抱えていることが浮き彫りとなりました。

課題を解決していく上では、各団体が顔を合わせて情報交換など対話を重ねていくことで連携を深めることが重要になりそうです。

古民家「沙々樹」スタートアップ事業（古民家沙々樹）

築180年になる日野町の古民家を活用して、旧出雲街道など周辺の歴史的資産や自然を織り込んだ古民家体験活動をスタート!古民家コンサートや民話を聞く会などのイベントや体験民泊を展開し、昔懐かしい癒やしの空間を提供しています。



ニホンミツバチの住む里山づくり（ニホンミツバチの会）

ミツバチの減少によって果樹や野菜の受粉に悪影響が生じている状況を何とかしよう!と立ち上がった日野町の団体。ミツバチ飼育や採蜜の他に、休耕田を利用して蜂の食糧となるレンゲや菜の花を栽培し、景観美化にも貢献しています。



奥大山古道ウォーク2013の開催と古道整備事業（奥大山古道保存協議会）

復活した奥大山古道のウォーキングイベントを開催!ガイドと一緒に鍵掛峠から江府町御机まで歩き、御机では団子汁のおもてなし、下敷屋では荒神神楽の鑑賞など、トレッキング・食・文化を堪能するイベントになりました。



江尾のこだいち踊り伝承保存事業（江府町こだいち踊り同好会）

500年もの長い年月、江府町各集落で踊り継がれてきた県指定無形民俗文化財「こだいち踊り」が、過疎・高齢化のため伝承困難に!そこで昨年の江尾十七夜にて、正調の踊りを撮影し記録に残すことで伝承問題解決に取り組みました。



盆栽で地域を明るく大作戦!（日野町さつき盆栽研究会）

盆栽や草花で製作したミニ庭園を生きいき”ひの”ふれあいまつりに出展!多くの入場者を楽しませてくれました。その他にも盆栽を介護施設などに無料で貸し出し、多くの行事に華を添えました。





伝えたい 日野郡のたたら製鉄

—広がりを見せたこの1年—

日野地域は、日本の伝統的な製鉄技術であるたたら製鉄が盛んで、全国でも有数の鉄の産地でした。優れた鉄である玉鋼は最上の日本刀の材料です。鉄は鉄器や農具等にも加工され、人々の生活や日本の産業振興に貢献しました。日野地域には歴史・文化的資源であるたたら遺跡がおよそ三百箇所もあり、近年、たたらを活かした旅行商品づくりや交流促進が始まっています。

エコツーリズム国際大会で たたら探訪

皆さん、エコツーリズムをご存知ですか？国内外でエコツーリズムを推進する団体や研究者が集う「エコツーリズム国際大会2013 in 鳥取」が平成25年10月に米子市で開催されました。鳥取県のイメージアップやエコツアープログラムの開発や商品化を促進しようとするものです。この大会のエクサカーション（体験型小旅行）のひとつとして、「日本一の質と生産を誇ったたたら製鉄のふるさとを訪ねるコース」が取り上げられ

ました。参加者は、呼子山たたら場やたたら製鉄大宮楽舎（ともに日南町）と根雨楽舎、出雲街道根雨宿（ともに日野町）などを訪れ、歴史・文化を体感しました。ガイドの熱のこもった解説やたたら製鉄の大きさやロープで実感するプログラム、燃えさがる炉に砂鉄を投入するたたら製鉄体験など、伯耆国たたら頭彰会等のガイドの皆さんが工夫されたおもてなしの数々を楽しんでいただきました。

参加者からは、「おもてなしに感動した。」「安売りしないでしっかりしたツアーに仕上げられてほしい。」「いつでも誰でも参加できるようにしてほしい。」「などの意見が寄せられました。皆さんの満足そうな顔を見てみると、たたら製鉄の歴史や文化は地域の資源であると確信できました。

境港市でミニたたら製鉄体験

皆さん、鉄山融通会所をご存知ですか？日野郡のたたら製鉄で生産された鉄を境港から大阪や北陸

等に船出しするため、天保6年（1835）境港に置かれたのが、鉄山融通会所です。これが環日本海の拠点として境港が飛躍的に発展する基礎となったのです。そこで、平成25年11月17日にたたら製鉄体験を実施する「ミニたたら体験ワークショップ」を海とくらしの史料館（境港市花町8番地）で開催しました。

参加者は、熱い炎の炉の中に砂鉄を投入し、鉄や玉鋼の元になる金属の塊である鋼ができるまでを体験しました。同時にたたら製鉄の歴史の解説もあり、境港の繁栄のきっかけとなった「たたら」への理解を深めていただきました。

また、今回のワークショップで作った鋼やたたら製鉄などの解説パネル等を展示した企画展を海とくらしの史料館で開催しました。たたら製鉄は日野郡と境港市の交流づくりに役立っていました。

たたら製鉄は日野郡の大切な宝といえます。その歴史や文化を語り伝えていくではありませんか。

日本刀づくり の匠に聞く



前田 秀士
(江府町佐川)

たたら製鉄で得られた玉鋼で作られている日本刀。鳥取県に2人しかいない刀匠のひとり前田さんを訪ね、刀づくりへの思いを聞きました。

—刀づくりのきっかけは？

昭和16年頃に刀工の父に師事し出雲の刀匠に入門した。今でも注文に応じて刀を作る。近頃まで年間24本の太刀を打っていたよ。

—切れ味の良さは折り紙付きの刀をお作りになることで有名ですね。

美術品としての刀だけでなく、居合切りに使う刀も打っている。関西の居合切りの達人からの注文に応えて作っているが、十数年前に千本斬りで世界的な記録を達成したと聞いている。

—威風堂々とした美しい刀ですね。

刀は形や重さなど全体のバランスが大事だ。刀の地がねの肌や刃文の美しさなどが優れた刀は少ない。

—刀づくりに魅力を感じますか？

良い刀が打てる嬉し。だが、刀鍛冶は一本ずつが試練といえる大変な仕事だ。刀鍛冶をして長い年月が経つが、納得のいく刀にはなかなか仕上がらない。刀づくりは奥深いところが魅力だ。今度こそ良い刀を打つぞという思いが湧いてくる。まだまだ刀鍛冶を続けたいと思っている。

前田さんは神聖な雰囲気あふれる工房で真剣な眼差しで刀を作られていました。ご親族に二尺三寸五分の守り刀を打って贈ったと話されたときの和やかな笑顔が心に残っています。日本刀には独特の魅力や文化があります。決して無くしてほしくないものです。

ツバメの子育てを応援しよう！

花のつぼみも膨らむ3月中旬ごろ、東南アジア方面からツバメが日本に渡ってきます。昔から縁起のよい鳥であると言われているツバメ。その理由はどこから来ているのでしょうか？

ツバメは、湿気の少ない爽やかな環境で、子育てを邪魔されない程度に人の出入りがある場所に巣を作ります。それらが、結果として人にとって幸せに繋がる環境や要素であり、実際に幸運な出来事が訪れることが多かったことから、縁起がよい鳥と言われるようになったのです。

しかし近年、ツバメをはじめとする身近な野鳥が減少していると言われています。

その理由として、耕地の衰退、軒のない壁面が加工されている西洋風家屋の増加などが上げられますが、ヒナが出す糞を嫌がって巣を壊してしまう人が増えていることも一因のようです。

ご存じですか？どんな野鳥でも卵を産んで子育てが始まってから許可を得ずに巣を壊すと、鳥獣を保護する法律（鳥獣の保護及び狩猟の適正化に関する法律）の違反行為となります。ツバメのヒナが巣立つまで3週間程度なので、必要であるなら巣立つまで巣を落とすようにしましょう。

せっかく縁起がよくなるお墨付きをツバメにいただいているのです。よほどの理由がない限り、優しい気持ちで子育てを応援していただけたらと思います。

問 日野振興局 地域振興課 電話0859-72-2081

問 日野振興局 地域振興課 電話0859-72-2080

保安林制度にご理解を!

立木の伐採や作業道開設のときはご注意ください

暮らしを守る保安林

森林には、水源の涵養、土砂の流出や崩壊を防ぐなど、様々な働きがあります。

国や県では、特に重要な役割を果たしている森林を保安林に指定し、過度な伐採や開発を制限しています。日野郡では森林面積の約52%が保安林に指定されています。

保安林内での作業の前に

保安林内で、「立木・立竹を伐採したい」「作業道をつけたい」「小屋を建てたり土砂を捨てるなど土地の形質を変更する行為を行いたい」→日野郡内でこのような行為を行う場合は、**あらかじめ日野振興センター所長の許可を受ける（又は届出をする）**必要があります。

保安林に指定されているかどうか知りたい場合

日野郡内の保安林は、日野振興センターに備え付けられている保安林台帳を閲覧することにより確認できます。

また、保安林の指定地は、一部の例外を除き、土地登記簿の地目が「保安林」となっています。

問 日野振興局 農林業振興課 電話0859-72-2020

オオサンショウウオのためにスロープづくり!!

一昨年、日南町神戸集落の方から「自宅の前を流れる神戸川で、オオサンショウウオが堰堤の段差（落差工）を登れなくてウロウロしているよ」と日野振興センターの自然保護監視員に話があり、オオサンショウウオが登り降りできるスロープを設置することにしました。

オオサンショウウオの動きが緩慢になる1月に、計9箇所の堰堤にスロープをつける作業を行いました。オオサンショウウオは川べりを上流へ向かう習性があるため、施工業者さんに生コンで大きな形を作っていた後、地元ボランティアさんにも手伝っていただき、試行錯誤しながらの作業になりました。



問 日野県土整備局 河川砂防課 電話0859-72-2058

この記事は日南町、日野町、江府町、日野振興センターが連携、共同して鳥取県日野地区連携・共同協議会の取り組みを情報発信しています。今回は鳥獣被害対策に関する取り組みの紹介です。

日野郡3町が連携して日野郡鳥獣被害対策協議会を設立

日野郡では、近年イノシシによる農作物被害に加え、新たにサルの出没やシカの捕獲などが相次いでおり、鳥獣被害が多様化、広域化しています。また、鳥獣の捕獲を担う狩猟登録者のうち、特に猟銃の登録者の減少が大きく、10年前の半数50人程度となっており、後継者育成も課題となっています。

そのような中、日野郡3町と関係機関・団体が連携して、イノシシやシカなど野生鳥獣による被害を食い止めるため「日野郡鳥獣被害対策協議会（会長・増原日南町長）」を平成25年12月3日に設立されました。市町村を越えて広域で鳥獣対策に取り組むのは、県内で初めてとなります。

新たに設立された「日野郡鳥獣被害対策協議会」は拠点を日野振興センター内に置き、活動を統括するチーム1名と猟友会員2名、狩猟免許取得を目指す後継者1名の合計4名で「実施隊」が組織されます。

実施隊は平成26年4月から活動を開始し、被害現場での対策指導や、有害鳥獣が田畑に入れないようにする柵の設置や点検及び補修等に関する指導を実施したり、パトロール、対策研修会の開催などを行う予定です。



日野郡鳥獣被害対策協議会 設立総会の様子

実施隊の活動と目的

1 住民の不安を緩和

- 被害相談等に対し迅速に現地調査を実施
- 調査による適切な被害対策の立案、指導
- 定期パトロールで被害状況の情報収集

2 地域ぐるみの被害防止活動を促進

- 地域ぐるみで防止活動取り組みの必要性を啓発するため、研修会や講習会を実施
- 地域単位で捕獲従事者育成

3 施設の長寿命化

- 侵入防止柵の効果的な設置や点検及び補修等に関する指導

4 狩猟後継者の育成

- 狩猟免許取得に関する研修会を実施

5 効果的な防止対策の実施

- 各町の被害、対策状況等について、関係機関で情報を共有

問 日野振興局 農業振興室 電話0859-72-2007

相次ぐ！集落営農法人の立ち上げ

中山間地域は過疎化や高齢化により、美田を守ることが難しくなってきました。加えて、米価の下落や農政の大変革期を迎え、耕作放棄地の発生も懸念されています。このような地域では、集落みんなで協力して機械の共同購入・共同利用など、効率良く農業を行う「集落営農」が営まれてきています。

現在では更に、農地や生産はもちろん、販売・経理まで集落が一元管理する法人化へと移行する形態が増えつつあります。そうした中、平成26年1月に日南町で3集落の農事組合法人が設立しました。

河上集落の「農事組合法人かみかみ」、白谷集落の「農事組合法人ファーム白谷」、上萩山集落の「農事組合法人上萩山集落営農組合」は、いずれも水稻を中心として、自分達の農地は自分達で守るを理念に、今後経営していくこととなります。



問

日野振興局 日野農業改良普及所
電話 0859-72-20028

集落営農法人化のメリット

- ①農地の利用集積が可能になり、人的・機械的な作業効率が大幅に向上する。
- ②経営の一本化で機械・施設の償却費を削減できる。
- ③収穫した米の個人別仕分けが不要で、乾燥・調整・保管等の作業の効率性が向上する。
- ④作業効率の向上により、他部門の導入や販売への取り組みなど、経営の多角化が可能。
- ⑤対外的・社会的な信用力が向上し、後継者の円滑な確保や就農者の受け皿となる。

日野郡のおいしい旬を伝えます！

少し気が早いですが、山菜の芽吹きが楽しみな季節となります。自然豊かな日野郡は山菜の宝庫です。山や野にはたくさん山菜が自生しています。

フキノトウ、タラの芽、フキ、ごごみなど共通するのが苦味でしょう。料理の世界では、「春の皿には苦味盛り」と言います。その苦味成分が、冬の間に私たちの体にたまった老廃物を除去する効果（デトックス）があるとされます。苦味成分のポリフェノールやアルカロイド類は、抗酸化作用

わらび…ビタミンB2、ビタミンE、食物繊維が多いと言われます。

タラの芽…カリウムを多く含む他、リン、鉄分などのミネラルを含んでいます。カロチンも豊富と言われます。

ふきのとう…カロチン、ビタミンB1、カリウムなどミネラル分が豊富と言われます。

(出典：野菜の便利帳)

3月の旬 山菜

用や新陳代謝を促進する作用が含まれているので理にかなった食材と言えるでしょう。

最近では各地で自生するものだけでなく、地域の気象条件を生かし、特産化を目指して出荷用に栽培され、加温による早期出荷の取り組みも増えています。

日野郡では、江府町のタラの芽のふかし栽培などの取り組みが行われています。



“ごごみ”のふかし栽培



江府町農産物直売所「みちくさ」における販売風景

問

日野振興局 日野農業改良普及所
電話 0859-72-20026